

事業計画書

① 団体名	一般社団法人moko' a
② 事業名	子育て家庭の「暮らしの余白」を生み出す地域密着型 家事サポート事業 - よりみち家事 モニターモデル事業 -
③ テーマ区分	番号:3 子育て家庭が地域で安心して暮らせる社会の推進
④ 補助回数	*同一事業における補助回数(年数)について、いずれかにチェック <input checked="" type="checkbox"/> 1回目 <input type="checkbox"/> 2回目
⑤ 現状及び課題	<p>近年、共働き世帯やひとり親世帯の増加に伴い、家事・育児・仕事为重なり、子育て家庭の負担が非常に大きくなっている。特に、①頼れる家族が近くにいない核家族世帯 ②育児と仕事の両立に悩む家庭 ③精神的・時間的な余裕の欠如から家の中が崩れやすい家庭が増えている。</p> <p>しかし地方では、都市圏のような家事サポートサービスが少なく、「助けてほしいのに頼れない」孤立した子育て家庭が多い。一方で地域には、子育てが落ち着き「誰かの役に立ちたい」「短時間で働きたい」と考える女性も多い。しかし、数時間勤務の求人が少なく、家事経験を活かせる場が十分でないため、活躍できる機会が限られている。</p> <p>さらに、家庭の困りごとと支援したい住民がつながる仕組みが弱く、双方のニーズがすれ違っている。</p>
⑥ 事業目的	<p>本事業では、子育て家庭に対して家事負担の軽減を通じた「心の余裕」と「地域とのつながり」を創出することを目的とする。併せて、地域の主婦や女性を家事サポートスタッフとして育成することで、地域に新たな働き方と支え合いの循環を生む仕組みをつくる。</p>
⑦ 事業内容	<p>※備中県民局補助対象事業について、位置づけ(狙い)、概要、受益者(対象者)、実施地域、実施方法などを記載すること</p> <p>● 事業の位置づけ (狙い) 子育て家庭の孤立防止、精神的余裕の創出、生活の質の向上を図るとともに、地域の女性の活躍支援を目的とする。</p> <p>● 事業概要 本事業では、子育て家庭の家事負担を軽減するため、地域の女性を家事サポートスタッフとして育成し、モニター家庭への家事支援を実施する。</p> <p>① フォーラム 本事業の実施にあたり、7月に「暮らしを豊かにフォーラム」を開催する。本フォーラムは単なる事業説明会ではなく、近隣市町(笠岡市、倉敷市等)で子育て支援や生活支援を担っているNPO等の活動団体、地域住民、関係機関が集い、家事支援の必要性や今後の子育て支援のあり方について意見交換・協議を行う場とする。既存の福祉制度や支援施策との役割分担を整理し、予防型支援の位置づけを共有するとともに、本事業のモデル構築に向けた課題や可能性を議論する。チラシを活用して広く参加を呼びかけ、参加目標80名とする。</p> <p>本フォーラムを通じて、地域内の支援資源を可視化し、行政・民間団体・住民が補完関係で支え合う基盤づくりを図る。</p> <p>本フォーラムは、備中地域における予防型生活支援モデルの共創の第一歩と位置づける。</p> <p>② スタッフ育成(地域人材の育成と体制づくり) 5~9月にかけて、家事支援に必要なスキルを備えた地域人材(5名目標)を育成する。外部講師による研修、マニュアル(清掃・接遇・安全管理)作成、オリエンテーション動画の制作を行い、基礎研修から実践研修まで段階的にサポートする。</p> <p>④ モニター事業(子育て家庭への家事支援) 子育て家庭10世帯を対象に、3ヶ月間の家事支援モニターを実施する。1世帯あたり3ヶ月で14時間の訪問支援を行い、延べ140時間の家事サポートを提供する。訪問前に必ず事務所で説明を行い、安心できる導入プロセスを確保する。訪問記録、日報、利用者アン</p>

	<p>ケートを通じて、家事負担軽減、心理的余裕の変化、地域とのつながりの生成を確認する。</p> <p>④効果検証（データ分析とモデル確立） モニター期間終了後、家事負担の改善度、利用者満足度、相談行動の変化、スタッフのスキル定着度などを多面的に評価する。 Before/After調査、アンケート集計、ヒアリングを実施し、地域における家事支援の必要性和有効性を可視化する。分析結果はパンフレットにまとめ、翌年以降の事業改善と継続的なサービス展開に活かす。</p> <p>● 受益者（対象者） 子育て家庭（0～12歳の子どもを持つ家庭） 妊娠・産後の家庭 仕事・育児の両立に負担を抱える家庭 家事負担が大きい家庭 など</p> <p>● 実施地域 笠岡市・里庄町・倉敷市玉島エリア、浅口市を中心とした地域</p> <p>● 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募および紹介制でモニター家庭を募集 ・スタッフは一般公募・面談・研修を経て採用 ・マニュアルに基づいた訪問サポート ・月1回の振り返りと改善 ・アンケート・ヒアリングによる効果検証 <p>*天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応 オンライン相談会に切り替え 家事の在宅学習支援（片付けアドバイス等） 訪問できない期間は調査・分析・改善に充当し、業務の継続可能性についての検討期間とする</p>									
<p>⑧事業の条件及び アピールポイント</p>	<p>先進性、先駆性、独創性 本事業は、一般的に高価格帯になりがちな家事代行を、地域密着型の非営利団体が担うことで、低価格で継続的に利用できる仕組みを実現する点に独自性がある。家事支援を入口として家庭の状況に丁寧寄り添い、必要な場合は行政・社協・地域資源へつなぐ“孤立予防のハブ”として機能することを目指す。また、地域課題の解決に取り組んできた実績を活かし、本当に困っている人が気軽に頼れる安心の支援モデルとして構築する。</p> <p>備中地域への波及効果 本事業で確立するモニターモデルは、備中地域内の他市町村でも再現可能であり、地域全体の子育て支援力を高める効果が期待できる。家事負担の軽減は、子育て家庭の孤立予防や虐待防止にも寄与し、家庭の安心感向上につながる。また、研修を受けたスタッフが新たな働き手として地域で活躍することで、女性の就労促進や生きがいに貢献し、地域に「助け合い文化」を醸成する波及効果が見込まれる。</p> <p>その他、団体の持つ専門性やノウハウ等 私たちは、地域づくり・コミュニティ運営の専門家によって運営され、多様な主体をつなぐ中間支援の経験を豊富に持つ。家事支援、整理収納、片付けサポートの実践経験に加え、イベント企画、研修、広報、ファシリテーションなど幅広い領域で実績がある。また行政、社会福祉協議会、地域団体との協働経験を活かし、現場と制度をつなぐ柔軟な調整力と実行力を備えていることが強みである。</p>									
<p>⑨今年度の事業による直接の結果（アウトプット）及びその評価指標・評価方法</p> <p>※事業が複数の場合は、事業ごとに分けて記載</p>	<p>今年度は事業立ち上げの基盤づくりとして、フォーラムの開催、スタッフ育成、モニター実施の3点に取り組む。スタッフ育成では、外部講師による研修とマニュアル3種の整備、オリエンテーション動画の制作を行い、5名のスタッフ育成を目指す。 また、「暮らしを豊かにフォーラム」を開催し、80名の参加を目標とする（広報のためのチラシ1種作成）。さらに、子育て家庭10世帯を対象にモニター支援を行い、訪問記録とアンケートによる家事負担軽減の効果検証を実施する。</p> <table border="1" data-bbox="453 2000 1402 2112"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>評価方法</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マニュアル整備数</td> <td>スタッフアンケート</td> <td>理解度80%以上</td> </tr> <tr> <td>動画教材の作成</td> <td>スタッフアンケート</td> <td>理解度80%以上</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	評価方法	目標	マニュアル整備数	スタッフアンケート	理解度80%以上	動画教材の作成	スタッフアンケート	理解度80%以上
評価指標	評価方法	目標								
マニュアル整備数	スタッフアンケート	理解度80%以上								
動画教材の作成	スタッフアンケート	理解度80%以上								

	育成スタッフ数	研修修了者名簿	5名の育成
	フォーラム参加者数	名簿・受付記録	80名の参加
	モニター参加世帯数	申込書・同意書	10世帯確保
⑩今年度に期待される成果・効果(短期アウトカム)及びその評価指標・評価方法 ※事業が複数の場合は、事業ごとに分けて記載	事業参加者:①スタッフ(家事サポート従事者)②モニター家庭		
	① スタッフ(家事サポート従事者) 研修を通じて、清掃・片付け・接遇・安全管理の基礎スキルを習得し、家事支援の専門性を持つ「子育て家庭サポート人材」として育成することで、地域内で安心して働ける新たな就労機会が生まれ、短時間勤務でも収入が得られることで、女性の活躍機会が拡大が期待される。		
	評価指標	評価方法	目標
	必要なスキル修得度	研修ワーク記録	100%提出
	働きがい・役割意識	スタッフアンケート	満足度80%以上
	② モニター家庭 家事負担が軽減され、子どもとの時間・自分の時間が増え、心理的な余裕が生まれる。支援者と関わることで「地域に頼れる人がある」という安心感が高まり、孤立予防にも寄与する。		
	評価指標	評価方法	目標
	家事負担の改善度	事業前後アンケート	改善70%以上
	心理的余裕の変化	5段階評価	平均4.0以上
	事業実施団体 本事業を通じて、団体として家事支援モデルの基盤を確立し、地域の子育て家庭を継続的にサポートできる運営体制を整える。研修カリキュラム、マニュアル、広報導線などの基本構造が整備されることで、地域資源を活かした新たな支援事業を展開できる能力が高まる。また、行政・社協・地域住民との連携が強化され、地域課題に応じた事業形成力や協働体制が向上する。モニター事業の実践を通じて、課題把握力・効果検証力が高まり、次年度以降の本格実施に向けた事業の改善・発展が可能となる。		
評価指標	評価方法	目標	
研修カリキュラム・マニュアル整備の達成度	完成物の提出/スタッフへのアンケート	スタッフの理解度80%以上	
モニター事業の効果検証実施率	アンケート/ヒアリング	10世帯100%回収	
備中地域 家事負担の大きい子育て家庭が支援を受けられる体制が地域内に整備され、生活の安定と孤立予防につながる。また、地域住民がサポートスタッフとして活躍することで、新たな支え合いの循環が生まれ、地域コミュニティの活性化が進む。モニター事業を通じて、地域内の実情やニーズが可視化され、家庭支援と人材育成の両面において地域課題への理解が深まる。			
評価指標	評価方法	目標	
孤立感の変化	利用者アンケート	80%以上が「安心感が増えた」	
地域の課題把握の深まり	ヒアリング・記録	必要支援・困りごとの傾向整理	
⑪将来的に期待される成果・効果(中・長期アウトカム) ※事業が複数の場合は、事業ごとに分けて記載	事業参加者		
	① スタッフ(家事サポート従事者) 家事支援の専門性を持つ地域人材として継続的に活躍し、安定した収入と働きがいを得る。地域家庭とのつながりが広がり、女性の活躍促進と地域の支え手としての役割を担っていく。 ② モニター家庭 家事負担の軽減が継続し、家庭の安定や子どもの健全育成につながる。地域に支援者がいる安心感が根つき、困りごとを抱え込まずに相談できる環境が整うことで、孤立の連鎖が減少することが期待される。		

	事業実施団体 家事支援事業を継続運営できる基盤が確立し、地域の子育て支援・女性活躍支援の中核として機能する。実績を蓄積することで、他地域への展開や多様な協働事業の創出が可能となる。
	備中地域 子育て家庭を地域で支える仕組みが定着し、孤立や育児ストレスが減少する。住民同士の支え合いが広がり、地域コミュニティの活力が向上。定住促進や子育て世代の安心感にも寄与する。
⑫事業継続化に向けた取組及び事業展開の予定 (資金確保の見通し等)	本事業で整備した研修体制・スタッフ育成基盤・広報導線を活かし、来年度以降は月額制の家事支援サービスとして自走化を図る。モニター利用者の継続利用や新規家庭の獲得により安定的な収入を確保し、協賛企業との連携による追加サービスも検討する。また、行政・社協との協働体制を強化し、地域に根づく持続可能な事業モデルとして展開していく。

<記入上の注意事項>

- 1 各項目は、簡潔かつ明瞭に記入してください。
- 2 「④補助回数」欄の2回目は、令和7年度事業に採択された事業を令和8年度も継続して実施する場合に選択ができます。
- 3 「⑤現状及び課題」欄は、事業実施の要因となる地域課題や問題点、社会的背景等について記入してください。なお、根拠となる統計データや当事者の声などがあれば、それも示してください。
- 4 「⑥事業目的」欄は、事業を通じて実現したいこと、目指す将来的な姿(社会、経済、生活、環境等)について、「⑤現状及び課題」、受益者(対象者)等を踏まえて記入してください。
- 5 「⑦事業内容」欄は、課題解決や「⑥事業目的」における位置づけ(狙い)とともに、概要、受益者(対象者)、実施地域、実施方法などを事業項目ごとに具体的に記入してください。また、天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応(代替案の検討、事業縮小、事業中止等)についても併せて記入してください。なお、事業が複数の場合は、それぞれの事業ごとに内容を記入してください。
- 6 「⑧事業の条件及びアピールポイント」欄は、事業条件としている広域性又は先進性、先駆性、団体の持つ専門性やノウハウ等のアピールポイントについて具体的に記入してください。なお、先進性、先駆性は、他地域での先進例や成功例等もあれば、それも参考として記入してください。
- 7 「⑨今年度の事業による直接の結果(アウトプット)及びその評価指標・評価方法」欄は今年度の活動計画及びその評価指標・評価方法を記入してください。「⑩今年度に期待される成果・効果(短期アウトカム)及びその評価指標・評価方法」欄は事業実施により得られる今年度の利益や変化及びその評価指標・評価方法について記入し、「⑪将来的に期待される成果・効果(中・長期アウトカム)」欄は、事業を継続して行うことで、将来的に得られる利益や変化について記入してください。なお、事業が複数の場合は、⑨、⑩、⑪は事業ごとに分けて記入してください。
- 8 「⑫事業継続化に向けた取組及び事業展開の予定(資金確保の見通し等)」欄は、「⑥事業目的」や「⑪将来的に期待される成果・効果(中・長期アウトカム)」を踏まえ、翌年度以降に実施する予定の事業内容、組織体制、財源確保の手法、事業継続の工夫等について記入してください。
- 9 記入箇所が不足する場合は、必要に応じて行挿入等を行ってください。

日 程 計 画 表

年月	事業内容	場所	規模等
R8.04	講師調整、研修実施に向けた調整、チラシのデザイン	事務所	2名程度
R8.05	スタッフ研修準備 マニュアル制作	オンライン	3名程度
		オンライン	3名程度
R8.06	オリエンテーション動画制作打ち合わせ マニュアル制作 暮らしを豊かにフォーラム準備 フォーラム告知・チラシの作成	オンライン	3名程度
		オンライン	3名程度
		オンライン	5名程度
R8.07	オリエンテーション動画制作打ち合わせ マニュアル制作 スタッフ募集チラシの作成 暮らしを豊かにフォーラム開催	オンライン	3名程度
		オンライン	3名程度
		寄島町	80名程度
R8.08	スタッフ募集 スタッフ研修	寄島町	5名程度
R8.09	スタッフ研修 モニター家庭の募集	寄島町	5名程度
R8.10	モニター事業の実施	各家庭	10家庭
R8.11	モニター事業の実施	各家庭	10家庭
R8.12	モニター事業の実施	各家庭	10家庭
R8.01	アンケート結果のまとめ		
R8.02	事業報告書の作成		

＜記入上の注意事項＞

- 1 事業実施年度の年間スケジュール案を記入してください。
- 2 「場所」欄は、想定される実施場所を記入してください（例：〇〇市文化センター、△△市内）。不明な場合、特定できない場合等は未記入で構いません。
- 3 「規模等」欄は、参加予定人数、印刷部数等数量的に想定される量を記入してください。不明な場合は未記入で構いません。